

常置委員会・ 特別委員会活動報告

企画委員会

今年と同窓会設立100周年ということ、多くの同窓生から協賛していただき秋田魁新報に総会開催案内の全面広告を出すことができた。格調あるリードで祝賀会を盛り上げてくれた応援団OB紫紺の会にも感謝したい。

総会・講演会及び入会式の企画運営などは、例年、当番年次の協力を得ながら実施している。27年度2回目の当番年次会議と来年度当番の1回目の会議をそれぞれ11月中に開催し、入会式と総会・講演会の講師を選任する予定。入会式の記念品は生徒にも評判がよいので、校歌の歌詞の一部を印刷したUSBメモリを贈っている。

会議室無料貸し出し、軽印刷機利用、郵便物発送代行や、卒業10周年・15周年同期会開催支援など、組織強化のための支援を継続・強化していく。(委員長 佐藤悦紹)

財政委員会

総会で認定・承認された決算と予算について少し補足をいたします。まず平成26年度一般会計決算では、名簿会計の廃止に伴い、およそ460万円が繰入金として算入された結果、収入が支出を1千45万円上回りました。

平成27年度一般会計予算では、これをそのまま繰越金として収入の部に計上してあります。繰越金は前年度よりほぼ倍増しており、運営委員会でも決して好ましい状態ではない、という指摘が出ました。来年度の予算作成の際には、今年度の経験を踏まえ適切な善後策を講じなければと考えています。

一方、来年4月から実施する年会費の口座振替(銀行口座からの自動引き落とし)は9月末日現在、希望者が200人を超えました。この方々には今回のだよりに手続き用紙を同封しました。今後

もご希望の方は事務局にご連絡いただければ同用紙をお送りいたします。

(委員長 速水洋子)

名簿委員会

名簿40号を発刊してから、ちょうど2年が経過しました。古本屋に出ているとか、悪徳商法に利用されているという声が全く聞こえてきません。これは、今回の名簿から始めた、すべてのものに管理番号を付した成果だと思っています。

今年の委員会の主たる目標は、名簿捕捉率の向上です。名簿捕捉は、同窓会の基盤であると考え、今まで以上に支部・年次との連携を強めていきたいと考えています。

また、前号同窓会日より発送時に、捕捉率の低い年次へ、「住所未判明者一覧」を同封するなどの手立ても取りました。これからは、部活動のOB会とも連携を進めていきたいと考えています。会員捕捉は、地道にこつこつしかありません。

(委員長 越中谷孝一)

広報委員会

広報委員会は現在、学校側委員を含め8人の委員で「同窓会だより」の編集・発行を行っています。毎回だより発行のおよそ2か月前に編集会議を開き、発行に向けた準備にとりかかります。

委員が持ち寄った情報に基づいて各ページごとに掲載内容を協議、全容を固め、仕事の分担を確認します。その後は、各自締め切りに向かって全力投球。取材・写真撮影、執筆をお願いする方々との執筆交渉、原稿の校正・校閲、「つどい」原稿等の整理、印刷会社との細かいすり合わせ、ゲラ刷りの確認等々、怒涛の1か月半が待っています。「だより」は同窓会員のもの、これからも全国の会員から多種多様なご意見・情報の提供をお待ちしています。

(委員長 石井仁)

ホームページ委員会

ホームページ(HP)委員会は、若年層を含む同窓生のホームページへのアクセス数向上を目的に、パソコンだ

けでなく、スマートフォンなどの携帯端末でも見やすい画面を設定しています。さらに、トップページに秋田高校に関連するツイッターやフェイスブックなどの外部情報を掲載し、同窓生がHP上で気軽に情報発信できる環境を構築しています。

また、ビジネスを含む同窓生の活動発信を目的に、バナー広告の掲載を試行運用しています。掲載広告をクリックすることで、企業・団体のさらなる情報を閲覧することができます。今後試行運用結果をもとに、料金や掲載方法などを決定していく予定です。変化しているHPをますますは閲覧していただき、今後の改善に向けたご意見をいただければ幸いです。

(委員長 武内伸文)

150周年記念誌編集準備特別委員会

本委員会は、2023年に発行することになるであろう創立150周年記念誌の編集準備を進めている。開校からの100年間については『秋高百年史』をリライトし、その後の50年間を新たに執筆し